

ビッグデータ活用での悩み

!

構造化データは良いが、
非構造化データが扱えない

!

ビッグデータソリューションは多くあるが、
人がデータを解釈するのと同じレベルで扱いきれていない

!

ビジネスの現場で使いたいように、
各種データを自由に使えていない

我々を取り巻くビッグデータ

ソーシャル メディアデータ



ソーシャルメディアにおいて参加者が書き込むもの

マルチメディア データ



WEB上の配信サイト等で提供される音声や動画

ウェブサイト データ



ECサイトやブログ等で蓄積される購入履歴やブログエントリー等

カスタマー データ



CRMシステムで管理されるDM等販促データや会員カードデータ等

センサーデータ



GPS・ICカード・RFID等において検知される、乗車履歴、温度、加速度等

オフィス データ



オフィスのPCで作成されるオフィス文書やEメール

ログデータ



WEBサーバにおいて自動生成されるアクセスログ、エラーログ等

オペレーション データ

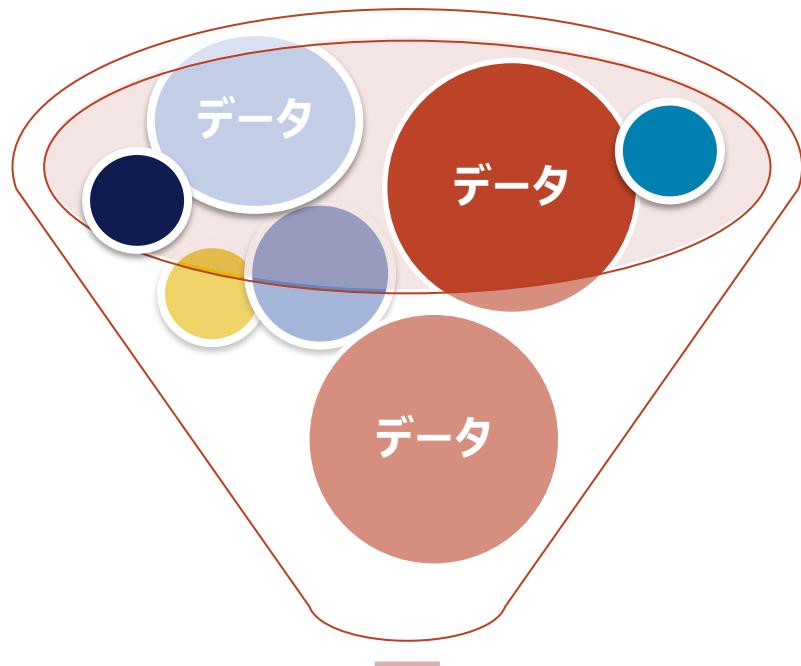


販売管理等業務システムにおいて生成されるPOSデータや取引データ等

出所：総務省公開資料を元に弊社作成

ビッグデータ

Variety –“多様さ”の活用 –



ビッグデータ

ビジネス面

多量のみならず、むしろ多様な
データをまとめて扱うことで意味が出るこ
とが多いのではないか

ハードルが高く、
なかなか実現しなかった

技術面

多様なデータを扱うにあたり、
データベースの制約や、データ自体を取
扱う周辺技術が未整備

るべき姿

どんな
データでも

あるがままに

いつでも
入れられる

使いたい
ものだけ
すぐに使う



- 使いたいデータ構造に
- 必要なデータだけ抽出
- 使いたい形に整形

⇒ デジタル社会において社会・顧客の変化を
捉える源泉にもなる

多種多様なデータを活用するサービス実現のための基盤としての MarkLogic Server活用

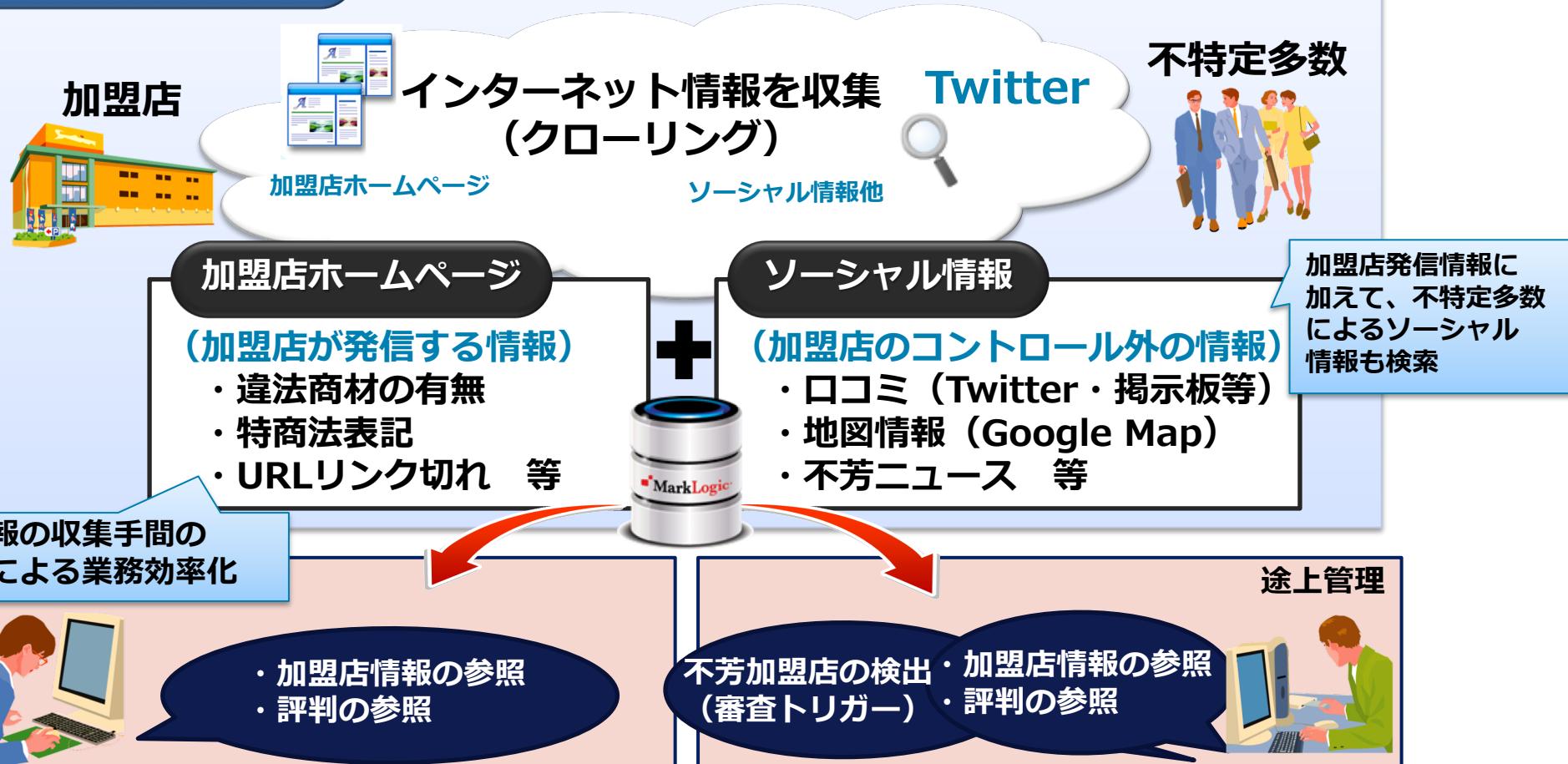
「非構造化データ活用基盤」として、従来のRDBが管理する定型化されたデータに加え、「**当初には想定されていないデータ構造**」や「**データ構造の変更**」、「**テキスト文書などの非定型データ**」をリアルタイムに管理し、データの意味を踏まえた検索やデータ間の複雑な関連を管理することができる、柔軟で拡張性に優れたデータ管理基盤のコア要素としてのMarkLogic Serverの活用を行います。



MarkLogic Server活用 具体的事例 -加盟店審査ソリューション-

インターネット上のECサイトや掲示板等、審査先に関するあらゆる情報を意味解釈・タグ付けを行い、多様なデータを活用可能な状態でMarkLogic Serverに格納し、お客様審査業務の高度化を図る。

インターネット情報



MarkLogic Server活用 具体的事例 -XBRLソリューション-

国際的な会計データのやり取りにも利用されているXBRLは、そのままだと非常に複雑で、かつフォーマットが頻繁に変更されるためRDBでは自在に扱うのが難しいファイルです。本ソリューションではXBRLを簡単に取り扱うだけではなく、XBRL以外のあらゆるデータもまとめて取り扱うことができます。



メンテ不要で
あらゆる
タクソノミの
XBRLを格納

非XBRLデータ
との
同時活用

ブラウザ上での
リアルタイムな
データ可視化

既存システムへ
の
データ連携

